

歴博をあるく

暮らしの植物苑で縄文人の植物利用を知ろう

広報部会



①
クリ



③
クヌギ



⑦
オニグルミ



⑨
トチノミ



⑪
ヒシ



⑭
ニワトコ



⑯
シイノキ



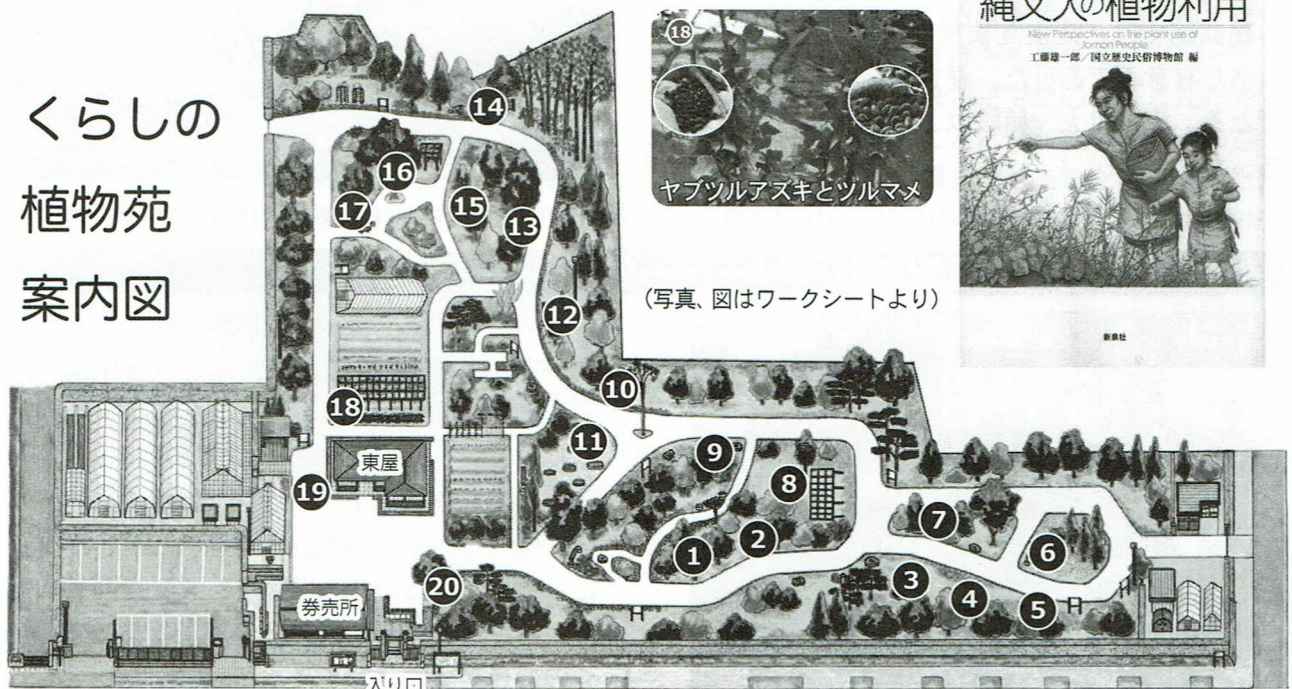
⑰
シラカシ

暮らしの植物苑には、縄文人が食べたり道具に使ったさまざまな植物があります。歴博は2012年に第86回フォーラムで「ここまでわかった縄文人の植物利用」、2015年に第98回フォーラムで「さらにわかった縄文人の植物利用」を開催しました。

管理栽培されていたと思われる「クリ」「ウルシ」「ヤブツルアズキ」「ツルマメ」、アク抜きが必要であった「クヌギ」「トチノミ」「シラカシ」、木材の性質により使い分けられた「クリ」「ヤブツバキ」「クヌギ」「ウルシ」「マユミ」「ユズリハ」「ムラサキシキブ」「シラカシ」「ケヤキ」の他、「ノビル」「オニグルミ」「カラムシ」「ヒシ」「ニワトコ」「サンショウ」「ヒョウタン」などが植栽されています。

ご家族の皆さんで、縄文人が利用した植物を探して見ませんか。植物苑の券売所に、カラープリントされたワークシートが用意されています。どのように使われたかは、書籍「ここまでわかった！縄文人の植物利用」(工藤雄一郎／国立歴史民俗博物館 編 新泉社 発行)で確認することができます。

暮らしの植物苑 案内図



(写真、図はワークシートより)

